

様式1（仕様書第7-3）

モニタリング総合評価表(令和5年度)

1 施設名

安平町ときわキャンプ場
-------------

2 施設の概要

設置目的	地域の活性化を目指し、町民の健康増進とレクリエーション、観光振興を図るために設置
面積・31.4ha	31.4ha
主な施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟、倉庫、案内看板、掲示板、照明、ごみ置場、炭捨て場</li> <li>・駐車場、トイレ、合併浄化槽</li> <li>・テントサイト、バンガロー、ツリーハウス</li> <li>・野外炉、炊事棟</li> <li>・アスレチック遊具、ローラー滑り台、四阿</li> <li>・健康の森、ライオンズの森</li> </ul>
開設期間	4月29日から10月31日まで(休場日:11月1日から翌年4月28日まで)
利用時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーテントサイト、手ぶらキャンプ、バンガロー、ツリーハウス、キャンピングカー(駐車場内)は午後1時から翌日午前11時まで</li> <li>・BBQコーナーは午前10時から午後8時まで(1日連続4時間まで)</li> </ul>

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
平成29年度	業務委託	瀧本産業株式会社
平成30年度	業務委託	瀧本産業株式会社
令和2年度	業務委託	瀧本産業株式会社
令和3年度	業務委託	瀧本産業株式会社
令和4年度	業務委託	瀧本産業株式会社

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	指定期間
あびらアウトドアフィールド共同事業体	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

5 指定管理料(決算ベース)

令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	差 (A)-(B)	増減理由
14,973 千円	0 千円	14,973 千円	指定管理が令和5年度から開始したため

6 指定管理者が行う業務

(1) キャンプ場の利用に関する業務
(2) 施設及び設備の維持管理に関する業務
(3) キャンプ場の管理運営に関して町長が必要と認める業務

7 利用実績等

(1)利用実績

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	130	1330	1016	2243	3457	1803	716	0	0	0	0	0	10695
令和4年度(B)	399	1136	1366	2047	3492	1963	855	0	0	0	0	0	11258
(A)/(B)	32.6%	117.1%	74.4%	109.6%	99.0%	91.8%	83.7%	0%	0%	0%	0%	0%	95.0%
増減要因等	令和5年度は4月の連休が前年度に比べて少なく、6月は降雨の影響により減少した。												

(2)利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	165	1365	940	2310	3540	1808	805						10933
令和4年度(B)	418	1045	1283	1876	3306	1836	954						10718
(A)/(B)	39.5%	124.9%	73.3%	123.1%	107.1%	98.5%	84.4%	%	%	%	%	%	102.2%
増減要因等	利用実績は前年度に比べ減少したが、料金収入は区角割サイトの導入により増加に転じた。												

(3)利用料金見直しの状況

見直しの有無	見直した場合はその内容
有	フリーサイトのうち、ときわ球場に近い所を区角割サイトに変更した(全30区画) 料金:区画サイト 3,000 円/区画・泊(町民料金 1,500 円/区画・泊)

(4)開設期間・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
無	

## (5) サービス向上のため実施した内容

### ①薪販売

薪を現地で購入できるよう薪の販売を開始。(地元業者からの仕入)

### ②夜間巡回

消灯時間以降に騒ぐ等のマナー違反を防ぎ利用者に快適に過ごしていただくため導入。また、夜間巡回を行っているキャンプ場はきわめて少なく、防犯面に課題があることを踏まえ、ファミリーでの利用が多いときわキャンプ場にて、お子様連れでも安心してご利用いただけるよう実施。

### ②オンライン決済の導入

土日祝や繁忙期には長蛇の待ち列ができるため、受付時間の短縮を目的として導入。

### ④キャッシュレス決済の導入

- i) オンライン決済同様、受付時間の短縮を目的として導入
- ii) ユーザービリティ向上のため、現金決済以外の支払方法を導入。

### ⑤予約可能数の削減

リピーター確保を目的に、宿泊者同士のテント設営距離を確保し、快適に過ごしていただくためフリーサイトの予約可能数を削減。

### ⑥区画サイト導入

フリーサイトの場所取りによる心理的ストレスを解消するため 30 区画の区画サイトを導入。また、区画サイト導入により場所取りの必要が無くなることで、ユーザーのチェックイン時間が分散され、チェックイン時の混雑緩和につながる。

### ⑦注意喚起看板の増設

受付前の場所取りやリヤカーの確保等のマナー違反が散見されており、クレームが多数ある状況を改善するため、各所に注意書きを記載した看板を増設。

### ⑧送風機導入

手ぶらキャンプに含まれるうちわを送風機に変更。簡易的に風を送ることができ、火起こしが楽になるためユーザービリティ向上につながる。

## (6) その他実施した取り組み内容

### ①ロゴ制作

キャンプ場の認知度向上、ファン獲得のためロゴを制作。

### ②ステッカー販売

昨今、キャンプ愛好家が自身のロゴを作成しキャンプ道具に張るキャンプステッカーが流行している。ときわキャンプ場のロゴをステッカーにし、ユーザーのキャンプ道具に張っていただくことで、他キャンプ場等、ときわキャンプ場の場外で宣伝を行うことができる。

### ③アウトドアイベントへの参加

各種アウトドアイベントに参加し、ときわキャンプ場のフライヤー等を配布し宣伝活動を実施。

<参加アウトドアイベント>

- ・ トマベイウォーターフロント 2023 (苫小牧キラキラ公園)
- ・ 空と川の OUTDOOR\*FESTIVAL (千歳グリーンベルト)
- ・ Outdoor Gear Expo (三井アウトレットパーク札幌北広島)

### ④早来学園特別支援学級に通う生徒が制作した『紙薪』の販売

早来学園特別支援学級の支援を目的とし、販売マージンは頂かずに生徒が作成した『紙薪(着火剤)』を販売。売上金額は全額、生徒の活動費として使用。

⑤「ういきゃん。」の実施

安平町を拠点にファミリー・初心者向けに活動を行う『野窓』が開催する、ファミリー向けキャンプイベントへの場所提供。及び、アウトドア体験のコンテンツ提供。

⑥岩見沢教育大学キャンプ教室

岩見沢教育大学の学生向けに宿泊を伴うキャンプ教室を実施。

⑦教育フォーラム懇親会

安平町で開催された教育フォーラムへの場所提供。

⑧文教大学キャンプ教室

文教大学の学生向けにテント設営体験、薪割・火起こし体験等のキャンプ教室を実施。

⑨BA(e)FUN FES 2023

サウナ体験や町内事業者による飲食店の出店が行われたBA(e)FUN FES 2023 への開催場所提供。及び、共催。

⑩クラフトビール販売

安平町地域おこし協力隊員の坪松賢太氏が行っているクラフトビールの販売促進に貢献。

⑪野菜/わたあめ販売

安平町産野菜を主とした野菜販売を行っている町内事業者への販売場所提供。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

①「消灯時間を守らない宿泊者がいる」事に対し夜間巡回にて声かけを実施

②「受付前の場所取りを行う宿泊者がいる」事に対し注意看板の設置、場内アナウンスや声かけを実施

③「受付前のリヤカー確保を行う宿泊者がいる」事に対し注意看板の設置、場内アナウンスや声かけを実施

④「町内の特産品を購入できるとうれしい」という声に対しクラフトビールや野菜販売を実施

⑤「薪を現地で購入したい」という声に対し薪の販売を実施

⑥「チェックインの待ち時間が長い」という声に対し

i) キャッシュレス決済導入、オンライン決済導入、受付時の記入事項の簡易化にて受付時間の短縮を図った

ii) 区画サイトを導入し、受付時間の分散化を図った

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

項目	指定管理者	町	評価
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書、管理計画書に基づいた管理運営を行った。また、地域の活性化や観光振興という点では、初年度としては安平町の事業者等と連携し特産品の販売やイベントを実施した。 その他、早来学園特別支援学級に通う生徒が制作した『紙薪』の販売に協力した。	おおむね協定書、仕様書及び管理計画書に基づいた管理運営を実施したと認められる。  紙薪の販売等、学校や地域の支援となる事業には今後も積極的に取り組んでいただきたい。	B

平等な利用の確保	オンライン以外の予約を承れるよう電話での予約受付を継続して行った。	平等な利用を確保できるよう努めていると認められる。 そのほかキャンセルポリシーの導入もあり、より平等な利用の確保が行われている。	A
利用者サービス向上の取組	「消灯時間を守らない」「受付前の場所取りを行う」「受付前のリヤカー確保」など利用者の声に対応した。また「チェックインの待ち時間が長い」という声に対してはキャッシュレス決済導入、オンライン決済導入、受付時の記入事項の簡易化にて受付時間の短縮を図った。	サービス向上に向けて、柔軟な取り組みで対応していることは評価できる。	B
自主事業	薪やステッカーの販売、協力事業者とのイベント開催、認知度向上のため宣伝活動を行った。	おおむね管理計画書等の内容どおりの自主事業が実施されている。次年度以降は多彩な自主事業の実施を行い、さらなるサービスの提供を目指していただきたい。	B
職員・管理体制	常勤職員5名、非常勤職員4名、繁忙期には本部から1～2名ほど職員を派遣。 基本的な対応やイレギュラーな事象が発生した際の相談等は問題無く対応できている。 今後、更なるサービスやホスピタリティ向上のための研修や、属人化している業務のマニュアル化を行う予定。	おおむね仕様書及び管理計画書に基づく職員配置が行われており、繁忙期やイレギュラーな事象には柔軟な対応をしている。	B
収支状況	最終的な決算において 2,305 千円黒字化出来た。自主事業においては 316 千円黒字化となった。今後年間を通じた営業を検討していきたい。	利用料収入の増加の努力は評価できる。	B
総合評価	キャンプ場として最低限求められる部分は提供できているが、より魅力的なキャンプ場として認知、サービスの向上、町内事業者との連携を深めるなど、更に向上が可能な部分はある。また、自主事業実施による収益向上の余地はあるので町と連携を取りながら進めていく。	おおむね仕様書等の内容どおり成果があり、適正な管理運営が行われている。	B

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。

B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。

C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。

D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

## 9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	町
施設の管理運営の課題	管理棟が狭く、物販をするスペースやシャワールームが必要であったり、キャンプ場奥にある2箇所のトイレが老朽化していたりするため改修が必要。また、冬期間も営業したいが、トイレや炊事場が冬期間使用できないなどの問題もあるため課題が多い。	<p>管理棟の狭さやトイレの老朽化については、実態を踏まえて計画的に対応していきたい。</p> <p>本キャンプ場にある課題を理解し、町と指定管理者との連携を強めて、サービス向上に努めたい。</p>